

科目名	体育（理論）		担当教員	田 中 葵		
			担当形態	単独		
テキスト	特になし。	単位数 授業形態	1 単位	講義	開講時期	前期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちと共に生活する保育者として、生き生きとした生活をつくるひとりの人として、生活と体との関係を理解し、説明することができる。 自分の体に必要な生活習慣に関する知識を獲得し、説明することができる。 子どもをとりまく生活環境と体との関係に関する知識を獲得し、子どもたちの“体を育む”保育者の役割について述べるができる。 <p>■授業の概要</p> <p>本授業は、高校までのスポーツを中心とした体育とは異なり、“体を育む”といった観点で展開します。今日では、私たちの体や生活習慣に影響を及ぼすさまざまなものが身のまわりに溢れています。そして、私たちは往々にしてそれらの情報や価値観に影響を受けています。したがって本授業では、まずそのような情報を知ることから自分自身の生活を見つめ直し、そのうえで、“体を育む”視点から、保育者の役割について考えることを目的とします。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション 「体育」とは何か 第2回 身体文化の変容 第3回 生活と体の関係① 食生活：食習慣 第4回 生活と体の関係② 運動1：運動の意義 第5回 生活と体の関係③ 運動2：生涯学習としての運動 第6回 生活と体の関係④ 睡眠：睡眠のメカニズム 第7回 生涯にわたる運動発達・幼児期の運動の特徴 第8回 まとめ 保育者として、自身と子どもの“体を育む” ことについてレポート作成</p> <p>■準備学習</p> <p>毎授業後に、授業で取り扱われた内容について考察し、レポートを提出すること。</p> <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業毎のレポート — 75% まとめレポート — 25% 						
参考文献	齊藤孝「自然体の作り方」太郎次郎社 2001. 文部科学省「幼児期運動指針」 2012. 中村和彦「子どものからだは危ない！ - 今日からできる からだづくり -」日本標準 2004. その他、授業で随時紹介する。		特記事項	毎授業、動きやすい服装で参加すること。		
				卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状必修 保育士資格必修	幼
			保	教養科目		